

平成26年度 京都大学霊長類研究所共同利用研究会 『豪雪地域におけるニホンザルの洞窟利用』

研究集会の趣旨：豪雪地域のニホンザルの生態の一側面としての「厳冬期洞窟利用」について、生態、冬季食性、糞分解生物、自動センサーカメラによる調査法に加え、古生物や洞窟古気候学、気象学等の複合領域の研究について、相互の研究交流を行うことを目的とする。

日 時：2015年3月7日土曜日～8日日曜日

場 所：京都大学 霊長類研究所 大会議室

主 催：京都大学 霊長類研究所

後 援：富山大学理学部・社団法人 日本ケイピング協会・黒部峡谷鉄道株式会社

参加費：無料（研究交流会費は別途有料：18：00から）

問合先：富山大学大学院理工学研究部（理学） 柏木宛（kasiwagi@sci.u-toyama.ac.jp）

3月7日 13時00分～

13：00 「研究集会趣旨」 柏木健司（富山大）

13：05 「ニホンザルの洞窟利用研究の現状」
柏木健司（富山大）・高井正成（京大霊長研）

13：30 「糞からみたニホンザルの冬季食性について」
矢野 航（朝日大）・辻 大和（京大霊長研）

14：00 「サル穴で発見されたヤスデと糞分解過程について」
石井 清（獨協医科大）

14：30 「石筈記録から見る日本海側での気候変動」
狩野彰宏（九州大）

15：00 「自動撮影カメラによる動物観察：ボルネオ島の塩場に集まる動物たち」
松田一希（京大霊長研）

15：30 休 憩

15：45 「哺乳類の洞窟利用と化石化過程」
柏木健司（富山大）

16：00 「東アジアにおけるマカク化石の出土状況とニホンザルの起源」
高井正成（京大霊長研）

16：30 「黒部峡谷の積雪と雪崩」
川田邦夫（富大名誉教授）

3月8日 9時00分～

09：00 「ケイピングと学術調査について」
吉田勝次（社団法人 日本ケイピング協会）

09：30 「サル穴から見つかった小型哺乳類化石群集：ネズミも洞内生活していたのか？」
西岡佑一郎（大阪大学総合学術博物館）

10：00 「霊長類における崖の岩棚等の泊まり場選択について」
小川秀司（中京大）

10：30 「総合討論及び今後の調査研究に関して」
柏木健司（富山大）・高井正成（京大霊長研）

